

正義の旗 平和の心

詩人は

海を見ていた

埠頭ふとうに立って

夜明けを待った

世紀の海は

薄明はくめいに包まれ

碧き海あおに

金の光が走った

世界に広がる海を眺ながめつつ

私は 筆とを執った

「正義」——

君たちよ あなたたちよ

「正義」 必ずしも勝つとはかぎらぬ

「正義」なるがゆえに

断じて勝たねばならない

愛する 愛する

君たちよ あなたたちよ

平和の心をいだいて

私とともに金の航路を

太平洋はるかに

友情の 友情の

虹にじを懸かけてくれ給え

愛する 愛する

君たちよ あなたたちよ

青年の太陽と

笑みを交かわしつつ

私とともに広宣の黄金道みちを

悠然ゆうぜんと 悠然と

歩みゆこう どこまでも

悠然と 歩みゆこう

どこまでも ——